ホクコー ロディー®乳剤

■種 類 名：フェンプロパトリン乳剤
■有効成分：フェンプロパトリン---------- 10.0%
■化管法指定物質：フェンプロパトリン［第２種］---------- 10.0%
キシレン［第１種］---------- 47.0%
エチルベンゼン［第１種］---------- 36.0%

■登録番号：第17114号
■毒　　性：医薬用外劇物
■登録初年：1988.10.25
■性　　状：淡黄色澄明可乳化油状液体
■有効年限：5年
■包　　装：500mℓ×20本
■危 険 物：第二石油類危険等級Ⅲ、火気厳禁

【特長】

- 広範囲の害虫に効果のある合成ピレスロイド系殺虫剤。
- 接触作用による殺虫力と極めて速いノックダウン効果を示し、ハダニ類にも効果がある。

【適用内容】（2024 年 11 月末日現在）

作物名	適用害虫名	希釈倍数（倍）	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ﾌｪﾝﾌﾟﾛﾊﾟﾄﾘﾝを含む農薬の総使用回数
かんきつ	アケビコノハ、ヒメエグリバ ミカンハモグリガ チャノキイロアザミウマ カメムシ類、アブラムシ類 ケシキスイ類、ミカンハダニ コアオハナムグリ ハマキムシ類 ミドリヒメヨコバイ シャクトリムシ類 カネタタキ、ケムシ類	2000	200～700 ﾘｯﾄﾙ/10a	収穫７日前まで	４回以内	散布	９回以内 （噴射は５回以内、散布及びくん煙は合計４回以内）
もも	カメムシ類、アブラムシ類 シンクイムシ類 モモハモグリガ アカエグリバ アケビコノハ オオエグリバ ヒメエグリバ	1000～2000		収穫前日まで	５回以内		１０回以内 （噴射は５回以内、散布は５回以内）
マンゴー	チャノキイロアザミウマ	1000		収穫 14 日前まで	２回以内		７回以内 （噴射は５回以内、散布は２回以内）
あずき	ハダニ類		100～300 ﾘｯﾄﾙ/10a	収穫７日前まで	３回以内		３回以内
きゅうり	アブラムシ類、ハダニ類 オンシツコナジラミ	1000～2000		収穫前日まで	５回以内		５回以内
すいか メロン	アブラムシ類 ハダニ類				４回以内		４回以内
かぼちゃ	アブラムシ類			収穫３日前まで	３回以内		３回以内
トマト				収穫前日まで			
	オンシツコナジラミ						
なす	アブラムシ類、ハダニ類 オンシツコナジラミ				５回以内		５回以内
ししとう	ハダニ類	2000			３回以内		３回以内
ピーマン	アブラムシ類						
いちご	ハダニ類	1000～2000					
茶	チャノミドリヒメヨコバイ チャノコカクモンハマキ チャノキイロアザミウマ チャノホソガ チャトゲコナジラミ		200～400 ﾘｯﾄﾙ/10a	摘採７日前まで	１回		１回
	チャハマキ ヨモギエダシャク ツマグロアオカスミカメ	1000					
	チャトゲコナジラミ		－	挿し木前		３分間挿し穂浸漬	

作物名	適用害虫名	希釈倍数（倍）	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ﾌｪﾝﾌﾟﾛﾊﾟﾄﾘﾝを含む農薬の総使用回数
花き類・観葉植物	アブラムシ類、ハダニ類	1000	100～300 ﾘｯﾄﾙ/10a	－	６回以内	散布	６回以内

【効果・薬害等の注意】

- 使用量に合わせ薬剤を調製し、使いきること。
- ボルドー液と混用する場合は使用直前に混合すること。
- ミカンハダニに対する残効は短い傾向があるので留意すること。
- 蚕に長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、桑に付着するおそれがある場所では使用しないこと。
- ハダニ類は薬剤抵抗性が発達しやすいので、本剤の連続使用はさけ、作用性の異なる他の殺ダニ剤と輪番で使用すること。また、本剤の年間使用回数もできるだけ少なくするよう努めること。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
  - ◆ ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。
  - ◆ 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけること。
  - ◆ 関係機関(都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- 本剤は自動車、壁などの塗装面、大理石、御影石に薬剤がかかると変色するおそれがあるので、薬剤がかからないよう注意すること。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】

- ❖ 医薬用外劇物。取扱いには十分注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせること。
  本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けること。
- ❖ 原液は眼に対して刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- ❖ 原液は皮膚に対して刺激性があるので、散布液調製時には不浸透性手袋を着用して薬剤が皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- ❖ 本剤はのど、鼻、皮膚などを刺激する場合、また、かゆみを生じる場合があるので注意すること。
- ❖ 散布の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用すること。また、散布液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをすること。
- ❖ 摘果等の作業の際は、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。
- ❖ 本剤による中毒の治療法としては、動物実験でメトカルバモール製剤の投与が有効であると報告されている。
- ❖ 魚毒性等：水産動植物(魚類)に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。養殖池周辺での使用はさけること。
  水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
  使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- ❖ 危険物第四類、第二石油類に属するので火気には十分注意すること。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、鍵のかかるなるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管すること。